

# 事業実施報告

開催日	令和4年6月25日（土）～6月26日（日）		
事業名	親子ビギナーズキャンプ		
開催場所	国立岩手山青少年交流の家	参加人数	75家族(253人)
対象	3歳以上の幼児から小学生を含む家族		
関係機関名	ワイエス株式会社グリーンハウス事業部盛岡店		

## 状況報告 (事業の内容・事業の成果と課題について記載)

### 〔事業の内容〕

1泊2日の中でテント設営・野外炊事・選択制創作活動・アウトドアギア体験会の4つのプログラムを計画した。多くのニーズに応えるため、A・B・C3つの日程に分けて実施した。

テント設営は、日程ごとにキャンプ場・曲り家前芝生広場と体育館に分かれて行った。体育館では、館内テント泊の参加者だけでなく宿泊室に泊まる参加者にもテントを建てる体験を提供した。

野外炊事では、炊飯にも挑戦し、水加減や火加減に苦戦する家族も見られたが、職員やボランティアのサポートにより自分たちでカレーを作り上げ、おいしく食べることができた。

創作活動は、活動プログラムのあけびつるクラフト、七宝焼に加え、新たに木のえんぴつづくりを実施した。

アウトドアギア体験会は、ビギナーにおすすめのアウトドア用品の展示と体験、グリーンハウス盛岡店店長によるQ&Aを企画していたが、天候の急変により中止し、代替として謎解き1089探偵団を提供した。

### 〔成果〕

- ・アウトドア初心者を対象に、テント泊の心理的ハードルを下げるため、屋外テント、館内テント、宿泊室と宿泊場所を選択できるようにしたこと、道具もすべて貸し出して物の準備の負担を軽減することで80家族300名程度の定員に対し、168家族555名の応募があった。

- ・事業後のアンケートでは、事業全体に関する満足度について98.6%の参加者から「満足」「やや満足」の評価を得られた。「初めての料理づくり、薪に火をつける、初めてのトンカチなど初めてだらけの充実した2日間だった」という感想が寄せられた。

- ・各日程に複数の職員やボランティアを配置し、手厚いサポートを提供したことにより、参加者から「宿泊室が用意されていて安心して参加できた」「丁寧な説明がわかりやすかった」「ボランティアが一生懸命でとてもありがたかった」などの感想が多く得られた。

- ・創作活動は、金づちや小刀などの工具の初体験になり、子どもたちは自信にあふれる笑顔が見られた。木のえんぴつづくりは、「本当のえんぴつができるなんて思いませんでした」と驚きの声も寄せられた。

- ・参加者の92.5%が「今後、家族で自然体験活動を行いたい」と回答している。「貴重な体験に子どもがとて喜んで」「楽しかったし、家族の時間が持てた」「テント設営のやり方がわかり、ハードルが下がった」「一度体験できたから、今度もできるかも」と継続的に体験活動を行う動機づけとなり、事業の目的を達成することができたと考える。

- ・事業の事前スケジュールを見直し、使用場所の環境整備・備品整備に組織的計画的に取り組むことができた。

### 〔課題〕

- ・3日程を同時に進行するため、全職員の協力を得て運営したが、各長との打ち合わせまでしか時間を設けられず、変更が生じた場合の詳細まで全職員の共通理解を図る場を設定できなかった。

- ・屋外活動が中心の事業であるが、前日と当日の悪天候と天気急変により、予定変更と随時の実施判断が多くなり、変更伝達に課題が残った。

- ・体験活動への高いニーズに応える必要があるが、気象状況が年々厳しくなる中、荒天時にも対応可能な規模・内容の構成について検討する必要がある。

## 状況写真



「テント設営中」



「兄弟で作った自信のカレー」



「火加減は僕に任せて」



「七宝焼」



「木のえんぴつづくり」



「あけびつるクラフト」